

氏名	鈴木 貴 博
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3744号
学位授与の日付	平成14年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	B型急性肝炎におけるHBc抗原特異的リンパ球反応の解析
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 山田 雅夫 教授 加藤 宣之

学位論文内容の要旨

抗原特異的T細胞反応はB型肝炎ウイルス(HBV)の急性感染におけるウイルス排除に重要である。フローサイトメトリーによる細胞内サイトカインの解析は、T細胞の反応を1個の細胞単位で短時間に測定できる簡便な方法である。本研究ではHBV特異的T細胞の反応をフローサイトメトリーにより検討した。対象はB型急性肝炎8例、B型劇症肝炎2例である。ヘパリン採血を行い、この全血をリコンビナントHBcAgとともに培養し、フローサイトメトリーによる細胞内サイトカインの解析を行った。HBcAg特異的IFN- γ 陽性CD4Tリンパ球は、肝炎患者10例中4例に陽性であったが、HBcAg特異的IFN- γ 陽性CD8Tリンパ球及びHBcAg特異的IL-4陽性Tリンパ球は全例陰性だった。健常人及び肝炎患者のHCV抗原刺激においては、細胞内サイトカインは検出されなかった。HBcAg特異的CD4Tリンパ球は、高感度法であるフローサイトメトリーにより末梢血から検出可能であり、そのサイトカインから見た形質はTh1タイプであった。以上より、HBcAg特異的Th1タイプCD4Tリンパ球は急性B型肝炎におけるウイルス排除に重要な役割を果たしていることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、B型急性肝炎におけるHBc抗原特異的リンパ球の出現について、フローサイトメトリーにより細胞内サイトカインを検出することにより検討したものである。この結果、HBc抗原特異的Th1型CD4T細胞リンパ球が検出可能であることを明らかにした。この知見は、B型急性肝炎におけるウイルス排除の機構について重要な示唆を与えるものであり、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。